

分野：自然観察

雑木林を知る「堆肥づくり」

環境アドバイザー

千種 秀信

対象 富士見市立水谷小学校 3-6 年 (50 人)

所要時間

1 時間 10 分

場所 富士見市石井緑地公園 (どんぐり山)

実施時期

令和4年2月15日

概要

小学校の学年縦割りの総合学習のテーマ「水谷自然遺産を見つけよう！守ろう！広めよう！」の一環として講座依頼を受ける。今回は2回目で、1回目は「雑木林、湧き水、希少植物、腐葉土・土中生物」などの説明中心だったが、2回目は、実作業体験として、落葉だめでの「堆肥づくり」をおこなった。

プログラムの
ねらい

雑木林の循環サイクル（落葉利用、萌芽更新、薪炭・椎茸栽培・木材利用など）を学び、日本農業遺産、「武蔵野落葉だめ農法」の「堆肥づくり」の実作業体験を通して、この地の歴史や自然に対する学びを深める。

プログラムの内容

- 1、どんぐり山を愛する会「チーム紹介」
- 2、雑木林の循環サイクルと日本農業遺産「武蔵野落葉だめ農法」の「堆肥づくり」の意義を説明
- 3、堆肥づくりの進め方を説明
落葉かき⇒シートにのせて運ぶ⇒落葉だめに入れる⇒土をかける・水をかける⇒踏み固める
この繰り返し
- 4、堆肥づくり実施
1～4班：落葉集めて運ぶ、5班：落葉だめの中へ入って踏み固める、6班：用意された土を入れる班、7班：湧き水の水を汲んで落葉だめに入れる
- 5、班交代
- 6、まとめ、質問

受講者の反応

- ・落葉だめに入って踏み固める作業は、大変喜んでいました。
- ・「1年後、堆肥・腐葉土がどうなっているか？見てみたい」という反応が多かった。
- ・出来た堆肥や腐葉土を学校ファームや花壇で使ったらどうかという意見があった。
(今後、先生と検討していくこととする。)
- ・カブトムシの幼虫を持ち帰る子が多かった。

環境学習の様子（写真）



雑木林の循環サイクルと日本農業遺産「武蔵野落葉だめ農法」の「堆肥づくり」の意義、堆肥づくりの進め方を説明



落葉集めとシートで運ぶ



落葉だめに入れ込む



土をかける・水をかける⇒踏み固める